

日本産酒類の輸出促進連絡会議説明資料

平成28年3月
観光庁

ニッポンを飲もう！「日本の酒キャンペーン」

実施主体は日本酒造組合及び各空港会社
(国土交通省、観光庁、国税庁が後援)

国土交通省
観光庁

- ◆ 我が国の国際空港（成田・羽田・中部・関西）において、外国人旅行者にとって関心の高い「日本の酒」を通じて、我が国の文化やその魅力に触れてもらい、訪日外国人の増加を目指す取組みを平成25年10月に開始。当初は半年の予定であったが、毎年更新している。
- ◆ 空港の免税エリア内のキャンペーンブースや店舗において、訪日外国人を対象に、日本酒・焼酎の試飲によるPRを実施。その他、お酒の製法や飲み方等のお酒の文化や、外国人が見学可能な酒蔵情報等を紹介。
観光庁は、酒蔵ツーリズム推進の観点から外国人が見学可能な酒蔵情報等を紹介。
- ◆ これまで、延べ734社の蔵元とともに延べ15万人以上（平成28年1月31日現在）の外国人旅行者に対し、お酒の魅力を発信。

(注：実施主体は、日本酒造組合中央会及び各空港会社であり、国はキャンペーンの後援等で連携)



キャンペーン
ブースと来客
の状況
(成田空港)



オープニング
セレモニー
(中部空港)



訪日外国人向け酒蔵
ツーリズム紹介パン
フレット
(各空港)

キャンペーンブ
ースでの試飲の様
子
(羽田空港)

オープニングセ
レモニーでの舞
妓さんによる振
る舞い酒
(関西空港)

酒蔵ツーリズム®推進協議会について

「酒蔵ツーリズム」は佐賀県鹿島市の登録商標です。



<趣旨>

酒蔵ツーリズム協議会は、日本産酒類（日本酒、焼酎、泡盛及び日本産のワイン・ビール等）を盛り立てるとともに、それを観光資源として活用し、外国人観光客への訴求も見据え、我が国及び地域の観光交流の魅力の増進と地域活性化に繋げることを目的に、

- ① 酒蔵ツーリズムのあり方を考察するとともに、先進的な取り組みの情報の収集・発信、本件に関わる様々な関係者の連携強化
- ② 地域における取り組みの促進を図る。

<主な取り組み>

- ① 酒造業界と観光業界その他関係者とのネットワーク化
- ② 地域協議会等の組織化と相互の連携強化、地域モデル及びビジネスモデル事例の収集・分析・情報提供
- ③ お酒や酒蔵をまちづくり、まちづかいに活用することによる地域の活性化。モデル的事例を収集・提供
- ④ 農業、食文化、伝統工芸との連携の促進
- ⑤ 旅行商品の開発・仕組み作りの事例の収集・提供
 - ・ 観光業界の協力を得ながら、具体的事例の拡大を図る
 - ・ 外国人向けツアーの普及
 - ・ 在日外国人向けの日帰り・一泊ツアーの造成等について働きかけ。
- ⑥ 協力企業等からの「連携プロジェクト」提案の募集
- ⑦ 情報発信



<協議会メンバー>

- ・ 酒造関係業界
- ・ 関連業界：観光業界、交通業界、商工団体、マスコミ
- ・ 有識者
- ・ 自治体
- ・ 国：内閣官房、国税庁、総務省、農林水産省、経済産業省、観光庁
- ・ 協力企業

<スケジュール>

- ・ 平成25年 3月 第1回協議会 本省
- ・ 平成25年12月 第2回協議会 京都
- ・ 平成27年 3月 第3回協議会 茨城
- ・ 平成28年 3月14日 第4回協議会 新潟県開催予定

酒蔵ツーリズム®推進（昇龍道日本銘酒街道の例）について

※酒蔵ツーリズムは、佐賀県鹿島市の登録商標です。

《目的》

能登半島を龍の頭に見立てた中部北陸9県のインバウンド観光ルート「昇龍道」において、多数所在する酒蔵の知名度の向上と観光資源としての「酒蔵ツーリズム®」の推進を行うもの。訪日外国人を含む観光客の増加を図り、併せて日本酒への親しみ・理解を深めることを通じて、販売の増加、輸出の促進を図る。

《これまでの取組》

- 関係省庁、県等との連携
国税局、経済産業局、酒造組合、陶磁器事業者等と連携したプロモーション 等
- 訪日旅行商品の造成等
外国の旅行会社、メディア、ブロガー等を招請して行うファムトリップの行程に、
 - ①酒蔵めぐり
 - ②お酒と組み合わせたおいしい食事
 - ③日本酒を購入できるショッピング等を組み込んで訴求し、お酒の海外での認知度向上、訪日旅行商品造成等を図る

《現状と今後の取組》

- 昇龍道の「酒」と「食」にまつわるコンテンツをつくり、海外に発信
 - ・地域の「酒と食のおいしい組み合わせ」を公募し、外国人や専門家の目線で取り上げ
 - ・日本文化に関心のある外国人個人旅行者向けに、お酒にまつわる深い話を収集
 - ・これらのコンテンツについて、昇龍道の「重点ルート」と関連づけて、多言語ウェブサイトに掲載するとともに、重点的に海外プロモーションを行う
- フランスのアルザスワイン街道との間で相互交流を推進



日本酒発信事例「日本産酒類の魅力発信を通じた訪日プロモーションについて」

○「JAPAN NIGHT」における日本産酒類を提供

【概要】

世界最大級の旅の祭典であるツーリズムEXPOジャパン（9月24日～27日）内の行事である「JAPAN NIGHT」に、各国の観光担当の大臣や高官、在日大使館大使や海外政府観光局の関係者、同時開催のVISIT JAPAN ラベルマート2015の商談会に参加する海外バイヤー・メディアを招待し、日本酒造組合中央会の協力により日本酒の提供を実施。

開催日：平成27年9月25日
 場所：東京丸の内エリア
 （行幸通り、丸の内仲通り 他）
 主催：日本政府観光局、
 日本観光振興協会、
 日本旅行業協会



○「VISIT JAPAN ラベルマート2015」における酒造見学を含むファムツアーの開催

【概要】

国内最大のインバウンド向けの商談会である「VISIT JAPAN ラベルマート2015」において、日本政府観光局が「酒造見学」をコースに組み入れた視察旅行を実施。訪日旅行を取扱う現地旅行会社に酒造見学をしていただくことで、「和食」及び「日本酒」を組み入れた訪日旅行商品の造成を促進。

日程：平成27年9月28日～10月1日
 （3泊4日）
 コース別参加者数：
 ゴールデンルートコース：30名
 三重和歌山コース：25名
 九州コース：25名



○「日韓交流おまつり in Seoul」を活用した日本酒の認知促進

【概要】

「日韓交流おまつり」は、日韓がひとつになって楽しむ日韓の草の根交流の代表的なイベントとして、両国の友好増進を目的に開催されている。前回開催に引き続き、試飲を通して日本酒の認知向上に貢献。

開催日：平成27年9月19日、20日
 場所：COEX展示会場（韓国・ソウル）
 主催：日韓交流おまつりinSeoul実行委員会

○日本酒イベント「Salone du SAKE」への出展

【概要】

欧州における最大の日本酒イベントにおいて、日本政府観光局が訪日プロモーションブースを出展。フランス国内及び欧州の日本酒関係者、日本酒や日本に興味のある来場者に対して、日本酒（生酒）の試飲を通じて、日本酒の認知向上に貢献。

開催日：平成27年10月31日、11月1日
 場所：CAP15 Center（フランス・パリ）
 主催：Sylvain Huet（シルヴァン・ユエ）氏

